2015年度のレスポンシブル・ケア活動

事業活動に伴う資源・エネルギーの投入量、製品の生産量、廃棄物・その他環境への排出量を把握し、 環境負荷の低減に努めています。また、環境保全対策に要したコストとその効果を評価するために、 環境会計を実施し公表しています。2015年度における活動の概要は以下のとおりです。

■2015年度レスポンシブル・ケア活動実績および2016年度目標

項目	2015年度 目標	実績	自己評価	2016年度 目標
環境保全	環境負荷の低減 全社的なエネルギー管理と 省エネルギーの推進	エネルギー原単位 前年度比 3.8%増加 (P8)	×	環境負荷の低減 全社的なエネルギー管理と 省エネルギーの推進
	排水の自主管理値以下での管理	COD排出量 前年度比 37%減少 (P9)	0	排水の自主管理値以下での管理
	廃棄物の発生抑制および適正処理	廃棄物等総発生量 前年度比 3%減少 (P10)	0	廃棄物の発生抑制および適正処理
労働安全衛生	労働災害の撲滅 作業環境の改善	休業災害 1件 (P11)	×	労働災害の撲滅 作業環境の改善
保安防災	設備災害の撲滅	設備災害 O件	0	設備災害の撲滅
物流安全	物流安全の確保	物流事故 O件	0	物流安全の確保
化学品 · 製品安全	化学品・製品の安全確保	重大製品事故 O件	0	化学品・製品の安全確保
社会との対話	社会への情報公開推進 地域社会との交流推進	『レスポンシブル・ケア レポート2015』発行 各事業所において地域社会との交流を推進 (P13)	0	社会への情報公開推進 地域社会との交流推進

■環境会計

集計範囲: 当社単体 対象期間: 2014年12月1日~2015年11月30日

環境保全コスト 単位:百万円

		分類	おもな取り組み内容	投資額	費用額
	事業活動により事業エリア内で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト(事業エリア内コスト)			127	307
1		公害防止コスト	大気汚染防止、水質汚濁防止等	98	134
	内訳	地球環境保全コスト	地球温暖化防止、省エネルギー対策等	27	0
		資源循環コスト	廃棄物処理、廃棄物のリサイクル等	3	174
2		動に伴ってその上流または下流で生じる環境負荷を るための環境保全コスト(上・下流コスト)	製品等の回収、適正処理、物流事故未然防止対策等	0	11
3	管理活動	動における環境保全コスト (管理活動コスト)	環境マネジメントシステムの整備・運用、環境情報の開示、 環境負荷監視、従業員への環境教育、緑化対策等	4	60
4	研究開発	発活動における環境保全コスト(研究開発コスト)	環境負荷抑制のための研究開発、各種評価・試験費用等	0	63
5	社会活動	動における環境保全コスト(社会活動コスト)	地域住民に対する情報提供等	0	0
6	環境損傷	易に対応するコスト(環境損傷対応コスト)	環境対策工事	0	165
		合	計	131	607

*投資額:環境保全に関する設備投資

*費用額:環境保全に関する減価償却費、維持運営費

*四捨五入により、合計値が一致しない場合があります。

環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指	信標(単位)	2014年度	2015年度	対前年増減量
事業活動に投入する資源	総エネルギー投入量	(kL)	12,725	12,925	200
に関する環境保全効果	上水道使用量	(千m³)	398	404	6
	CO2排出量	(t-CO ₂)	36,644	36,724	80
事業活動から排出する	COD排出量	(t)	25.7	16.2	-9.5
環境負荷および廃棄物	廃棄物等総排出量	(t)	7,340	7,286	-54
に関する環境保全効果	リサイクル量	(t)	3,239	3,907	668
	廃棄物最終処分量	(t)	1,162	925	-237

環境保全効果に伴う経済効果 単位:百万円

効果	金額	
収益	有価物売却	9

^{*}環境省「環境会計ガイドライン2005年版」、(社)日本化学工業協会、日本レスポンシブル・ケア協議会「化学企業のための環境会計ガイドライン」に 準じて算定しています。 2014年度のCO₂排出量については、排出係数の変更に伴い、修正しています。

■北興化学工業の事業活動とインプット、アウトプット(集計期間:2014年12月1日~2015年11月30日)

INPUT

総エネルギー投入量(原油換算) 総物質投入量 水資源投入量

農家

7,005kL 農薬部門 上水道 電力 16.584t 404于m³

燃料 5,920kL ファインケミカル部門 18,351t



北興化学工業

●研究開発 ●製造(合成、製剤)











水稲分野

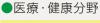




ファインケミカル製品



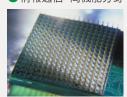






電子・製薬・各種化学企業など

●情報通信·高機能分野



●環境関連分野





廃棄物 製品 水域 農薬製品 14,113t 総排水量 2,623千m³

COD排出量 農薬製品以外の ファインケミカル製品 4,418t

大気

温室効果ガス排出量 CO2排出量 36,724t-CO2

7.9t SOx排出量 NOx排出量 21.8t

ベンゼン排出量* 0.95t ジクロロメタン排出量* 0.27t 廃棄物等総排出量 リサイクル量

7,286t 3,907t

廃棄物最終処分量 925t

輸送

16.2t

CO2排出量 1.936t-CO2

算出方法

エネルギー量 原油換算 : 「エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則」に基づき換算

: 環境省、経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に基づき算出

CO2排出量 SOx排出量 : 重油の硫黄含有量からSO2として算出

NOx排出量 :環境省「環境活動評価プログラムーエコアクション21-2001年3月改訂版第2刷」に基づき算出

廃棄物最終処分量 : 直接埋立処分される産業廃棄物量および産業廃棄物で埋立処分が予想される外部委託処理後残渣量を算出 物流におけるCO2排出量:環境省、経済産業省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に基づきトンキロ法により算出

* 有害大気汚染物質(優先取組物質)のうち、当社において排出量の多い物質のみを記載しています。